

令和元年 第10回帯広市教育委員会会議録

1. 令和元年 8月 6日 火曜日 9時20分 ~ 16時30分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 10階第5B会議室に招集する。

2. 本日の出席委員

教 育 長	嶋 崎 隆 則
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	塩野谷 和 男

3. 本日の議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指名について
- 日程第 2 議案第 25 号 中学校用教科用図書の採択について
- 日程第 3 議案第 27 号 高等学校用教科用図書の採択について【非公開】
- 日程第 4 議案第 26 号 小学校用教科用図書の採択について【非公開】
- 日程第 5 報告第 27 号 教科用図書の採択に係る情報の公表について【非公開】
その他

嶋崎教育長

ただいまから、令和元年第10回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、田中委員及び佐々木委員を指名いたします。

日程第2、議案第25号、中学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第25号、中学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。議案書1ページをご覧ください。本案は帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、令和2年度に市内中学校で使用する教科用図書を採択しようとするものでございます。まず、道徳以外の教科書につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定等により、同法施行規則第6条の規定に該当する場合を除き、4年間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされております。本来であれば、本年度は中学校用教科用図書の採択を行う年にあたりますが、学習指導要領の改訂に伴い新たに文部科学大臣の検定を経たものがないことから、北海道教育長が決定した採択基準では、採択権者の判断と責任により、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の採択における調査研究の内容等を活用することも可能であることとしてございます。これを受けて本市としましては、平成27年度の採択時に選定委員会において、教科ごとに慎重に調査・検討を重ねた上で、教育委員会会議で審議した結果、現在まで使用している教科用図書を採択・決定した経過を踏まえ、平成27年度の採択理由を基本に、令和元年度と同一の教科用図書を使用することとして、採択するものでございます。また、道徳につきましては、昨年度に採択しておりますので、同法第14条の規定により、令和元年度と同一の教科用図書を使用することとして、採択をお願いするものでございます。以上よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。

議案第25号、中学校用教科用図書の採択については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議なしと認め、議案第25号は決定されました。
ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第3、日程第4及び日程第5の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により、非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第3、議案第27号、高等学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第27号、高等学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。議案書5ページをご覧ください。本案は帯広市立学校管理規則第41条第2項の規定により、令和2年度に帯広南商業高等学校で使用する教科用図書につきまして、学校長が文部科学省の高等学校用教科書目録の中から選定したものを採択しようとするものでございます。議案書7ページ以降に使用教科用図書を掲載してございますが、令和2年度は、合計35の教科書を選定いたしてございます。このうち、今年度からの変更点についてでございますが、外国語の「コミュニケーション英語Ⅰ」及び外国語の「コミュニケーション英語Ⅱ」の2科目につきましては、生徒の興味や関心を高め、かつ生徒が学習に取り組みやすく、理解を深めることができる教科書を選定するという観点から、変更し選定したものでございます。選定のプロセスにつきましては、担当教諭による教科会議をはじめ、教科主任によるカリキュラム委員会、教職員による職員会議を経て、校長が選定を行ったものでございます。以上よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

これから質疑に入ります。

嶋崎教育長
各 委 員
嶋崎教育長

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。

議案第27号、高等学校用教科用図書の採択については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第27号は決定されました。

日程第26号、小学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

議案第26号、小学校用教科用図書の採択についてご説明いたし

ます。議案書3ページをご覧ください。本案は帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、令和2年度に市内小学校で使用する教科用図書を採択しようとするものでございます。昨年度の検定を経た教科用図書につきましては、去る6月3日に帯広市教科用図書選定委員会に諮問し、調査研究を行っていただきまして、7月24日に答申があったところでございます。本日、委員の皆様には、この答申に基づきまして、種目ごとに1種の教科用図書を採択していただくものでございます。なお、特別支援学級の教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、文部科学大臣から送付される小学校用教科書目録に掲載されてございます以外の教科用図書を使用することができるものと規定されております。このため、本市におきましては、これまで知的障害学級における特別の教育課程に対応するため、特別支援学校用（小・中学部）教科書目録に唯一掲載されております文部科学省著作の教科用図書を使用してきたことから、令和元年度と同様の文部科学省著作の教科用図書を採択するものでございます。以上よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

嶋崎教育長

これから、令和2年度に使用する小学校用教科用図書の採択に係る審議を行います。

まず、国語の審議を行います。

国語につきましては、4種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私から述べさせていただきたいと思えます。結論から申しますと、光村図書を選ばせていただきました。内容についてお話ししたいと思えます。1年生では幼稚園、保育所との円滑な連携を補完する教材として、良い天気には人とかかわり、対話し、つながっていく初めての機会を言葉とし、親しみやすいイラストで描かれていて、スタートブック「さあはじめよう」では、等身大の子どもたちが学校で友だちや先生とふれあう現実的な場面を取り上げていて、幼稚園や保育所を離れて、小学校の国語学習が始まる時の不安を取り除く工夫がされていて大変良いと思えました。それから図書館の活用方法や多様なジャンルの良いものを掲載するなど、児童の学習意欲を高めるとともに読書に誘うようになっていると感じました。3年生の本の紹介では、「アイヌのむかしばなし」、4年生では、「パンフレットを読もう」で札幌の水道のことを取り上げていました。6年生の「学習を広げよう」で「アイヌ語の地名が伝えること」など、すべての学年に北海道との関連を取り上げている資料があることは、子どもたちが興味を持ち、学習意欲にも繋がると思えました。他教科との関連が図られるように、題材の選定について工夫されていて、

6年生ではプログラミングを教える先生の文章が載せられていて、これから始まるプログラミング教育に繋がるような配慮がされていると思いました。すべての学年で単元に1つずつURL、QRコードも掲載されていて、学習の助けとなる資料が読み取れ、学習の理解度が増すようになっていると思いました。巻末の付録に「学習を広げよう」を掲載し、他教科や日常生活に広げて活用され、本も多数紹介されていて、国語の学びを各方面に広げ、深め、繋げる工夫がされていると感じました。読書に対する意欲を高め、読書の幅を広げ、読書を通して思考力や創造力を養う工夫がされている教科書という感想を持ちました。国語の力を養う上で大きなウエイトを占めるのが読書ではないかと感じております。一番感じたことは、光村図書は読書に対する思いが強いと感じた次第です。それから、教育出版は学習過程がはっきりとわかるように学習の展開や段階を明示していて、見通しを持って学習ができるように配慮がされている点から、教育出版と光村図書で悩みましたけれども、読書に対する思いが強いという理由から、光村図書を選ばせていただきました。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

国語は結論から言いますと、これまで使用してきた教育出版を推したいと思います。いくつかコメントさせていただきます。まず、各単元の冒頭に示された目標と手引きの「ふりかえり」が連動しており、目標を明確にして学ぶことができ、また、その目標に応じて自分で確認することができるという点、2点目は単元末の「確かめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」では、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようになっています。3点目は2学年から6学年に北海道に関する記述があります。5学年の「新聞を読もう」では、スピードスケート、金メダリストである地元出身の高木姉妹が掲載され、6学年では、北海道に関する教材、「雪は新しいエネルギー」は、なじみやすく関心を持って学習ができる点、最後に全学年で教材と関連した図書、読みたい本を紹介するなど、これは光村図書などもそうですけれども、児童の学習意欲を高める工夫が随所に見られるということから、引き続き、教育出版を推薦したいと思います。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も教育出版と光村図書で迷いましたけれども、光村図書を推したいと思います。理由は藤澤委員といくつか重なるところがありますので、私からは簡単に説明させていただきます。子どもたちの発達段階に応じて、いろいろな言語活動を載せていて、例えば、2年生では観察日記を付けた、「そうだんにのってください」というコーナーで、話すこと、人の話を聞くことを主眼にして言語活動をするところ。3年生では「はんで意見をまとめよう」で、対話的スキ

ルの基本的なところを身に付けようとしているところ。4年生は新聞作りを行い、5年生では「よりよい学校生活のために」で社会と自分との繋がりを見つめ直して、自ら表現するという言語活動が載っています。6年生では自分を内省的に見つめ直して、思い入れを言葉にするということ、「自分について語る」というコーナーが設けられていて、発達段階に応じて、社会や自分のこと、人の話を聞くということ、いろいろな段階で言語活動を促すことが系統的に位置づけられていて、子どもたちの言語能力を高めることに非常に配慮されていると思いました。それから、思考や表現の助けとなる言葉や語彙に触れる場面を数多く設定していて、先ほど述べた様々な言語活動の中で、それらを生かす工夫がなされているところが特筆すべき点だと思いました。載っている文章自体も生命の尊さや人間尊重の精神を基本にして、人権教育にも十分配慮されていて、多様な作品を偏りなく選んでいるところが良いと思いました。心に響いて読み取ることが楽しいと思わせるような文学的作品が多いのも光村図書の特徴だと思いました。日常の生活場面などにも題材を設定して、子どもたちが必然性をもって文章に取り組みるように工夫がされているところも良いと思いました。以上です

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

国語に関しては、私も教育出版と光村図書の2社で大いに悩みました。前回の4年前にも教育出版と光村図書で大きく悩んだ記憶があります。本当にどちらを選んでも構わないくらいでした。教育出版の利点というのは、細かいところは省略いたしまして、全体的にバランス感覚が圧倒的に高いこと、帯広市にとっては継続性があるということがあると思います。学校の先生の負担を考えても少し楽だろうと思います。教育出版は国語に関して多様性が非常に高い感じがいたしました。一方、光村図書は現代性と可能性を感じています。先ほど佐々木委員から、教材について読むことが楽しいというお話もありましたが、私の主観ですけれど、全体的に難しいのではないかという印象を持ちました。特に小学校1年生の段階で割と長文が入っていたり、少し厳しいのではないかという部分もないわけではありません。ただ、それでも国語力は、すべての教科の基礎となるということを考えると、国語という科目を通じて読解力の基礎を養っていくことができると思っています。それから、高校へ行くとかかなり難しい長文などが段階に応じて出てきます。義務教育で言えば、中学校1年生の時点で題材はかなり難しくなってくると思います。そういうことを考えると、敢えて光村図書を推してもいいのではないかと思います。もちろん教育出版も全く問題はなく、敢えてと言いましたのは、子どもたちの学力の問題がいろいろと問われている時代に、光村図書の持つ可能性や引き出しがかなり大きいと

思い、光村図書を推薦したいと考えた次第です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私から述べさせていただきたいと思います。いずれも文部科学省で教科用図書選定審議会での答申をもとに合格した教科書でございますので、内容・項目の強弱、外観を含めた本の作り、あるいは学びの視点など、それぞれ特徴がありますが、総じて大きな違いはないと感じたところです。膨大な数量でしたので、6年生の教科書を主に読み込みました。その中で1社を決定しなければならないということで、私自身の評価のポイントとして、1つは児童目線での読みやすさ、本のサイズや持ちやすさなどの負担感、文字の大きさ、見やすさという点、2つ目は教材を含めた各社の主体性と独自性、目次の作り方や教材のつなげ方など、指導者サイドからみた滑らかさや分量、3つ目は、分冊やメモ欄などの特徴、そして前回の選定教科書との連動性について考慮したところです。まず、東京書籍は、構成の斬新さが光っていたような気がいたします。現代社会の課題に肉薄するような内容だと思いました。学校図書は上下の分冊で最初の教材の「誓約書」とか、宮脇明氏の『「本物の森」で未来を守る』という教材は秀逸で国語の教科らしさを感じました。光村図書は編集趣意書にある「心を動かす」「言葉が動かす」のテーマに沿った構成になっており、類似本の紹介が非常に印象的で、6年生の「公立図書館の利用案内を読もう」などの題材の豊富さを非常に感じたところです。教育出版は分冊で教材の配列、目次の書き方などの流れや繋がりが非常に滑らかに感じました。私の採択順番で申し上げますと、軽さと内容のバランスの良さから、教育出版がトップで次に光村図書となったところです。ただ、光村図書の重さと一部資料の文字の小ささが少し気になったところです。

ということで、国語につきましては、単純に申し上げますと、光村がお三方、教育出版がお二方となりました。皆さん概ねこの2社の中でどちらが良いかという発言だったかと思います。少数となっている教育出版を選ばれた塩野谷委員はいかがでしょう。

塩野谷委員

やはり、今まで使用してきている教育出版は慣れているし、どちらかと言うと良いと思いました。

嶋崎教育長

実は私も継続性を重視させていただきました。その中で国語は光村図書というイメージもありました。

塩野谷委員

確かにそういうイメージはありましたが、先入観を捨てて現状から判断させていただきました。

嶋崎教育長

多数の方いかがでしょう。

藤澤 委員

私は光村図書に決めさせていただきましたが、教育長がおっしゃったことなどから、本当に迷いました。学習しやすいのは教育出版ではないかと思ったのですけれど、国語の教科ということで、文章

的なものとか、先ほど申し上げたように読書力ということで、本の紹介数も多かったように思いますので、そういったことから光村図書を選びました。本当にどちらも良いという感覚です。

佐々木委員

私も継続性の面が一番大きいと思いました。継続性を重視して一番助かるのは現場の先生ではないかと思っていたのですが、答申での意見を参考にさせていただいて、実は教育出版から途中で光村図書に変えたというところです。いつか使ってみたい光村図書と思われる現場の方々がいるということもあり、もう一度読み直して、そろそろ使ってみてもいいのではないかと思います。元々光村図書は好きでしたので、そういう思いで変えました。

藤澤 委員

私も同意見です。私自身は最初、教育出版と決めていたところ、いろいろ検討した結果、光村図書を選びました。

佐々木委員

これで教えてみたいという気持ちが感じられました。

藤澤 委員

気持ちが伝わってきました。

田中 委員

これは本当に悩みました。繰り返しになりますが、継続性か、あるいはそろそろというお話もあり、その二択だと思いました。現場ファーストではありますけれど、学ぶのは子どもたちなので、もしかしたら、子どもたちの国語に対する楽しみや読書に対する考え方などが劇的に変わるかもしれないという予感をさせる教科書であることは確かだろうと思いました。先生方に負担感があるかもしれないし、子どもたちが逆に国語が嫌いになってしまうことがないとは言えませんので、繰り返しになりますが、敢えてという話をさせていただきました。ただ、もしかしたら、国語を通して他の科目にも新たに波及していくのではないかという期待を込めて選びました。

嶋崎教育長

ありがとうございます。皆様のご意見を総合しますと、読書への親近感をどう掴ませるかという良さでは、内容的には光村図書、ただ、現場から見て継続性を考えて、教育出版が安全だろうという違いだと思います。私としては、ずっと継続しなければならない理由はどこにもないものですから、内容的に光村図書というお話もありましたので、塩野谷委員はいかがでしょう。

塩野谷委員

内容が良いのであれば、変えてみるのもいいかもしれません。

嶋崎教育長

それでは、国語の採択すべき教科書は、光村図書というご意見で全員一致しております。

光村図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

国語の採択につきましては、『スタートブック「さあはじめよう」では、学校で友達や先生と触れ合う現実的な場面が取り上げられるなど、幼稚園、保育所との円滑な連携により、小学校生活が始まる時の不安を取り除く工夫がされていること。1年生の段階から長文が組み込まれており、発達段階に応じた様々な言語活動能力を高める配慮が系統的に位置づけられていること。すべての学年で北海道との関連を取り上げている題材があることや、6年生ではプログラミング教育に関わる題材なども取り上げていること。児童が読書に対する思いを高め、思考力や想像力を養うことができるような工夫がされていること。思考や表現の助けとなる言葉や語彙に触れる場面を数多く設定しており、様々な言語活動の中でそれらを活かす工夫がされていること。巻末の付録には、他教科や日常の生活場面などにも題材を設定し、児童が必然性をもって教材に臨めるような工夫がされていること。』などの理由により、発行者、光村図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に書写の審議を行います。

書写につきましては、5種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

結論から申しますと、光村図書を選ばせていただきました。理由を述べたいと思えます。1、2学年の巻頭ページに、正しい姿勢で器具の持ち方を実現する体づくりのための「しょしゃたいそう」が載せられております。子どもたちが楽しみながら身に付けることができると思われました。毛筆を扱う際には教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題を教材内や硬筆のまとめに設け、毛筆で学習したことが硬筆に生きるような工夫がされているように思いました。書き初めや漢字の成り立ちをコラムで掲示するなど、伝統的な言語文化への理解が深められるように配慮されていて、国語の教科書に掲載された物語や短歌、俳句のなぞり書きを教材として、「言葉を楽しもう」が全学年に位置づけられていて、また、わかりやすいイラストを掲載したり、原稿用紙に書く学習、短歌を作って国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める構成がされていると思えました。5年生の新聞作りでアイヌ文化の紹介、6年生ではポスターを題材に雪まつりなど、北海道との関連を取り上げていることは、子どもたちが興味を覚えて学習意欲に繋がると思えます。すべての学年でURL、QRコードも掲載されていて、学習の助けとなる資料が読み取れ、学習の理解度が増すようになっていると思われました。以上のような理由で、光村図書を選ばせていただ

きました。国語と書写は関連がありますので、国語は光村図書を選ばせていただいた関係からも光村図書を選んだ次第です。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

先ほど国語の教科で教育出版を選んだ関係上、それと連動させた形で同じ会社が良いと考えました。1つの特徴として、3年生以上の教材の文字が見開きの左側や2ページにわたって構成されている教科書が多い中で、教育出版は右側に配置しています。ぱっと見て半紙の文字のイメージがあり、左側に説明をしているところは、非常に見やすく、学びやすいというのが第一印象です。国語で選んだ教育出版と連動させた方が良いと思い、教育出版を選びましたけれど、先ほど光村図書に決めましたから、それと連動させるとなると光村図書が良いのかと、今考えているところです。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も結論から言うと、国語で光村図書を推していたのと連動して、書写も光村図書を推したいと思います。国語の教科書と連動できる教材を各学年に2つ以上設定してあり、国語科と一体的に扱うことができるという点で、多分どの会社も自社の国語の教科書と連動させていると思いますけれども、国語科と連動したものが良いと思いました。特徴としては、主に4年生からの教材について、課題解決型学習を想定し構成されていて、このような形だとバランスはどうだろうとか、こちらを大きくしたら、どう見えるだろうという問いの投げかけをして、文字の配列や形、より良いバランスはどれか、子どもたちが主体的に考えて解決していく流れで書写を学ぶようになっていて、これはとても特徴的で良いと思いました。書写の原理、原則を主体的に学び取ると同時に思考力と判断力、表現力も養えるように配慮がされているところが良いと思いました。それから、自己評価欄を設けたり、学習の進め方を掲載したり、子どもたちが主体的に取り組むことができ、達成感も感じられるよう工夫されているところが良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

国語で光村図書を推薦した関係上、書写も光村図書を推薦したいと思っております。教科書との連動性を考えることは当然ありますし、他の教科書ももちろん良かったのですが、とりわけ私は学びの好奇心を深めてくれるというイメージを持ちました。具体的には図やイラストに多様性やわかりやすさがあり、原稿用紙の使い方など「書写ブック」の利便性が高いと思いました。「文字の歴史」とか、面白かったのが「自分だけの一文字」では、池江璃花子さんなど、今話題の方が掲載されていて、好奇心を深める対象になるだろうと思いました。先ほどお話が出ていましたアイヌ文化に関して、東日本大震災の記述もあったと思います。そういったことを全部含

めて、科目を超えて士気を得ることができると思いました。ただ、佐々木委員も言われておりましたけれども、基本的には字を美しく書く、成り立ちを踏まえて書くということでしょうから、一番基本に則っていて、ベースがしっかりしている意味でも光村図書が良かったと思います。以上です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私からです。書写につきましては5社ということで、東京書籍は明るい色彩で教科書に書き込む題材も多く、ノート兼用で使いやすそうな感じがいたしました。学校図書は写真やイラストも多く、親しみやすく、6年生の「都道府県名を書こう」というのはなかなか良かったと思いました。教育出版は余白も多くシンプルで手に取りやすい印象でした。6年生の最初のページの漢倭奴国王印や稲荷山古墳の鉄剣の文字のようなものは、児童の興味を引きつけるのではないかと思います。光村図書の最初のページは「じぶんの名まえをかこう」というところから始まっており、そこは少し違和感があったところですが、6年生の書写ブックの「手紙の書き方」「はがきの表書き」などは、実に実用的で秀逸だと思えました。日本文教出版は、1年生は40ページで一番薄くて、最初のなぞるところは、絶妙な入り方で良さを感じました。また、6年生の甲骨文字、ヒエログラフも良い印象でした。なかなか難しいのですが、シンプルで学びやすさ、教えやすさということから、教育出版を一番にさせていただきました。次点は、なぞるところからスタートする日本文教出版と最も軽量で流れのある光村図書と考えました。

先ほどの国語と全く一緒の形となりました。先ほど塩野谷委員から国語との連動性のお話がありました。私もそのように思いますので、国語と同じく書写も光村図書でご意見が一致したと考えて、光村図書を採択することにご異議ありませんか。

各委員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

書写の採択につきましては、『各教材が課題解決型学習を想定して構成されており、児童が書写の原理原則を主体的に学び取ると同時に、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮していること。「硬筆のまとめ」には、毛筆で学習したことが硬筆に生かされるように工夫されていること。書初めや、漢字の成り立ちをコラムで掲示するなど、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮され、国語教科書に掲載された物語や短歌・俳句のなぞり書き教材として「言

葉を楽しもう」が全学年に位置づけられていること。書写ブックの「原稿用紙の使い方」や「手紙の書き方」、「はがきの表書き」などが実用的で秀逸であることや、アイヌ文化や大震災の記述があり、科目を超えて知識を得ることができるようになってきていること。1、2学年の巻頭ページに正しい姿勢・筆記具の持ち方を実現する体づくりのための書写体操が載せられており、児童が楽しみながら身に付くようになってきていること。』などの理由により、発行者、光村図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に社会の審議を行います。

社会につきましては、3種から採択を行います。

それでは各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員をお願いします。

藤澤 委員

結論から申しますと、東京書籍を選ばせていただきました。選んだ理由を述べたいと思えます。各学年に保護者の皆様へ「豊かな学びが未来を拓く」と称しまして、小学校社会科の学習内容が紹介され、学校での授業だけではなく、家庭での学習や会話から子どもと保護者が一緒に学習してほしいとあり、保護者が教科書に対して興味を持つことを促しているのが良いと思えました。各学年に見開きで「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階をたどりながら、小単元の学習の進め方を示し、問題解決の流れがわかるように工夫されていました。見開きの適所にドラえもんが目印の見方、考え方の囲みが提示され、空間、時間、総合関係の3つの視点と方法で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせれば良いかが明確にわかり、学習を進めることができるようになってきているのが大変良いと思えました。世界の中の日本として、国際理解、グローバル教育に関する内容を学び、持続可能な開発目標について取り上げ、具体的な目標を調べて自分たちができることを考える活動が示され、世界に向けて日本の役割は何か、日本が世界へ目を向ける内容が良いと思えました。北海道・十勝についての単元、寒い土地の暮らしや十勝地方の農業について取り上げられ、子どもたちの郷土愛を育むとともに学習意欲が増すものと思われました。北方領土を本文、地図、写真を使い丁寧に扱っていることやアイヌの人々について制定された法律やアイヌ文化なども記載され、全体的に綺麗な写真やイラストなどの資料も多く掲載されていることも大変良いと思えました。以上の理由で、全体を通して充実している東京書籍を選ばせていただきました。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員をお願いします。

採択理由について4点お話しします。最初に身近な地域社会の関

連について、北海道の地域素材を掲載しているページ数は、これは北海道教育委員会採択参考資料からですが、東京書籍が70ページ、教育出版が105ページ、日本教育出版が60ページ、教育出版が一番多いです。2点目、地域の暮らしの中では、東京書籍は十勝地方の自然を生かした農業が掲載されておりました。教育出版は帯広・十勝自体の掲載はないけれども、北海道全体について、より詳しくバランスよく取り上げられておりました。日本文教出版は旭川市の記載があり、その中でも旭川市の気温と大阪の気温の比較について、私にはあまりピンとこないものでありました。3点目、4学年の自然災害の単元については、教育出版では雪の災害に備えて、日本教育出版では雪による被害、災害、東京書籍は雪による災害には触れられていなくて、冬の長い北海道にとってはどうかと思いました。4点目は、東京書籍は6学年では2部に政治・国際編と歴史編に分かれており、扱いやすく、学びやすいと感じました。以上のことから、東京書籍、または教育出版が良いと思われました。大変迷いましたが、北海道の視点からは教育出版を選択したいと思います。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も東京書籍と教育出版も良いと思いましたが、結論から申しますと東京書籍を推します。理由については、6年生では政治・国際編と歴史編の分冊になっていて、政治・国際分野が比較的到手厚く、政治の仕組みや憲法の意義、成り立ちがわかりやすく説明されているという印象でした。身近なところから題材を拾って、なぜ、社会においてルールを決める必要があるのかというところから、わかりやすく説明されていて、そこから憲法ができた流れと憲法がどうして必要かというところが手厚く扱われていて、子どもたちが漫然と勉強するよりは必然性を持って勉強できるように配慮されていて良いと思いました。それから、中学校での学習のつながりもわかりやすく紹介されていて、スムーズに中学の学習へ移行できるように配慮されているところも良いと思いました。藤澤委員と重なるところが多いのですが、持続可能な開発目標について取り上げていて、具体的な目標を設定して、自分たちのできることを考えられるよう図られているところも良いと思いました。また、十勝地方の自然を生かした農業についても取り上げられていますし、4年生から6年生では防災学習についても、手厚く扱っているのも良いと思いました。分冊になっていることは先ほどもお話ししましたが、使い勝手が良いというだけでなく、持ち運びがしやすく、問題になっている重いランドセルの問題解決にも良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。田中委員お願いします。

田中 委員

結論を先に申し上げますと、東京書籍が良いと思いました。繰り返しになりますけれども、1つは分冊の観点です。皆さんからも出ておりましたので省略いたしますが、負担軽減になると思います。それから、東京書籍で一番感心したところは、段階的な学びを児童自らがしっかりと理解するという意識的に、他の出版社が意識していないということはありませんが、東京書籍はより明確に打ち出していると思いました。「つかむ」「調べる」「まとめる」「ひろげる」「いかす」「ふり返ろう」が一連のつながり方を明示させていて、構成の面でもわかりやすく作られていたと思います。同時に自学自習に当然役立つと思えますし、最近の授業形態は受け身の授業ではなく、アクティブ・ラーニング、PBLなどという形で、これから益々児童・生徒が主体に授業を展開していくことになるでしょうから、その意味でもかなり意識した作りになっていると思いました。それと連動するところで持続可能な開発目標でSDGsの話も出てくるのだらうと思えます。それから教科書への書き込みを促していたような気がいたしました。他の教科書でもあるのかもしれませんが、東京書籍では明確に出ていたところが良かったと思いました。繰り返しになりますけれども、十勝への視点が明確に打ち出しているところ、アイヌ文化の関係で国会決議の問題や白老町にアイヌ民族博物館設立など、割と最近のニュースも取り上げており、全体的な記述もオーソドックスでバランスが秀でていると思ひ、東京書籍が良いと判断いたしました。以上です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私から述べさせていただきます。社会につきましては3社で、東京書籍は皆さんと同じで、6年生を分冊にしており、3社の中で一番軽く、配慮を感じたところです。5年生では十勝の自然を生かした農業、カムイトウウポポの記述もありました。教育出版は全学年に4人のキャラクター人物を配置して、自然な問いかけが工夫されていると思ひましたが、重さが気になったところです。日本文教出版は写真、イラストも多く、文字も大きく読みやすさを感じました。6年生では待機児童や学童保育の新聞記事を掲載し、市町村の子育て支援や予算につなげる題材でしたが、少し難しいのではないかと感じました。結論としては、最も軽く地元の素材もバランスよく掲示された東京書籍が良いと思ひました。

そういたしますと、塩野谷委員は教育出版で、それ以外の方は東京書籍ということでしたが、いかがでしょうか。

塩野谷委員

私も東京書籍の構成や内容はまとまっていて良いと思ひ、迷いましたが、北海道という観点から教育出版にしました。東京書籍は分冊になっているところも良いと思ひましたが、できれば雪による災害のページが欲しかったと思ひました。

嶋崎教育長

付帯意見もございましたけれども、東京書籍で全員一致したということで、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

社会の採択につきましては、『教科書に書き込みができるようになっており、「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点を示し、児童がどのような方法で考えればよいかが明確になっていること。児童が主体的に学び、自学自習に結び付くように「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」等の段階的な学習の流れが示されていること。北海道・十勝についての単元「寒い土地の暮らし」や十勝地方の自然を活かした農業などが取り上げられているとともに、アイヌに係る法律や文化、北方領土などについて扱われていること。6年生は、政治・国際編と歴史編に分かれており、政治の仕組みや憲法の意義・成り立ちがわかりやすく説明されていること。世界の中の日本として、国際理解・グローバル教育に関する内容を学んだあとに、持続可能な開発目標（SDGs）について取り上げ、具体的な目標を設定し、自分たちができることを考える活動が示されていること。5・6年生向けを分冊とし、3社の中で最も軽く児童への配慮がなされていること。などの理由により、発行者、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に地図の審議を行います。

地図につきましては、2種から採択を行います。

それでは各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

結論から申しますと、帝国書院を選ばせていただきました。理由としましては、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」を踏まえ、「広く見わたす地図」を掲載し、3年生でも無理なく地図を使って学べることや都道府県を見る地図、世界の地図、資料図、統計を配列し、比較、関連させて観察できる資料を多く配置し、社会的な見方、考え方を身に付けられるよう資料と統計が掲載され、発達段階に応じて、系統的発展的な学習ができるよう工夫がされていました。北海道全図に北方領土4島がすべて明記されている上に青森県北部も掲載されていて、位置関係が把握しやすくなっているのも良いと思われました。国名や産物を英語で併記したり、手話での県名の表

記や物語や楽曲の舞台などを掲載したりするなど、他教科でも活用しやすくなっていて、英語が教科化になることを見通していたり、インクルーシブの配慮もなされていました。読み取りやすいA4判になっていて、地図・写真を美しく鮮明に表現するために地図専用の特殊な用紙を使用するとともに、草色の特殊インクも加えた多色刷りで印刷していき、表紙には耐性の強い用紙を使用し、表面の摩擦や汚れを防ぐためにポリプロピレンシートを貼って、4年間の使用に耐えられるよう丈夫な仕様になっていると思いました。そのような理由から、帝国書院を選ばせていただきました。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

2社を比較して、採択理由は1点、帝国書院は東京書籍に比べると地図全体が明るく鮮明であり、配色にも工夫が見られて、地名なども見つけやすいと思いました、地図は見やすく探しやすいのが一番ということから、帝国書院を選ばせていただきました。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も帝国書院を推したいと思います。導入部分では写真やイラストを交えて、地図の成り立ちやしきみについてわかりやすく解説しているところが良いと思いました。また、学習初めの3学年向けには、シンプルで見わたしやすい地図が採用されており、地図の読み方もわかりやすく解説しているところが良いと思いました。もう1つは防災マップの具体的な作り方を載せていて、子どもたちが主体的に防災意識を高めることができるよう工夫されているのも良いと思いました。藤澤委員もおっしゃっていましたが、国名や産物を英語で併記するなど、他の教科でも活用できるように図られているのも良いところだと思いました。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も帝国書院を推薦したいと思います。理由につきましては、今回、3年生も使用するということですが、初歩的なところからかなり難しいというか、細かな情報まで多岐にわたって入っていたのが帝国書院だったと思います。地図帳はわかりやすく見やすいのが一番と塩野谷委員がおっしゃったとおりだと思います。小学校では、この1冊があれば、ことが足りるということも重要ではないかと思い、帝国書院が良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私からは、双方とも統計資料などのイラストの表示に工夫があったと思います。鮮やかさ細やかさは東京書籍という感じがいたしましたが、一方で3年生から6年生までの学習資料としての興味の湧かせ方、手に取りやすさは帝国書院の方が上回っているのではないかということから、継続性もあり帝国書院が良いと思いました。

それでは、ここで5人のご意見が揃いました。

地図の採択すべき教科書は、帝国書院ということで全員一致しております。

帝国書院を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

地図の採択につきましては、『表紙には、4年間の使用に耐える耐性の強い紙を使っていることや、地図全体が明るく鮮明であり、配色にも工夫が見られ地名などが見つけやすいこと。写真やイラストを交えて地図の成り立ちや仕組みについて分かりやすく解説し、発達段階に応じて系統的・発展的な学習ができるよう工夫されていること。国名や産物を英語で併記したり、手話での県名の標記や物語、楽曲の舞台などを掲載するなど、社会科以外の教科でも活用しやすくなっていること。北海道全図に北方領土四島が全て明記されているとともに、青森県北部も掲載されているので位置関係が把握しやすくなっていること。防災マップの具体的な作り方を載せ、児童が主体的に防災意識を高めることができるよう工夫されていること。』などの理由により、発行者、帝国書院を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に算数の審議を行います。

算数につきましては、6種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員をお願いします。

藤澤 委員

結論から言いますと東京書籍を選ばせていただきました。理由は各学年の裏表紙に保護者に向けて「豊かな学びが未来を拓く」と算数の学びを通して子どもたちが「知的に起立する」ことをめざして編集していたことが記載されていまして、社会に出るために算数の学びの必要性を保護者に知らしめているところが良いと思えました。1年生は第1分冊と第2分冊になっています。第1分冊はノートの機能も備えた仕様になっていて、学習の準備に係る時間を軽減し、算数の学習自体に向き合う時間を長くするように工夫されていると思えました。単元末に学習した基本的な概念や性質の理解、技能の定着を図るため、「たしかめよう」を設けるとともに、各種学習の定着については「おぼえているかな？」のコーナーを設け、学力調査

の結果分析による児童のつまずきや誤答が多い問題に対応したり、基礎的、基本的内容をスパイラルに学習させ、確実な知識、技能の定着が求められる内容の集中や同一の内容が連続することがないように配列が工夫されていて、学習の定着が図られているように感じました。授業開きのページ「学びのとびら」を設定して、主体的、対話的な問題解決の過程を可視化するとともに、今日の深い学びを各学年の参加者に設定して、求められる資質、能力を図ることが工夫されていました。プログラミング教育では、5、6学年に単元の学習と関連した「プログラミングを体験しよう！」を設定し、プログラミング思考を体験できるようになっていることや小中学校の取り組みとして、算数の学習の総仕上げを意図した「算数の学習をしあげよう」を新設して、数学的な見方や考え方ができるようになっていて、算数学習の延長上に中学校の数学があることを認識し、自信と安心感が持てるような工夫がされていると感じました。以上の理由により東京書籍を選ばせていただきました。以上です。

塩野谷委員

6社あって大変でしたが、最終的に東京書籍を選びました。理由につきましては、藤澤委員からもありましたように、1つは単元末に学習した基本的な概念や性質の理解、理論の定着を図るために、「たしかめよう」を設けているところは特徴的だと思いました。2つ目に基礎的、基本的な内容をスパイラルに学習させ、確実な知識技能の定着を図るような工夫がありました。3点目は「つないでいこう算数の目」では、対話を通して全体を振り返る活動を促しています。ただし、プログラミング教育に関しては、学校図書、大日本図書のように、全学年にプログラミングに関するページを設ける方が良かったと思いましたが、最終的に東京書籍を選びました。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は3社で迷いました。啓林館と日本文教出版、東京書籍で迷いました。啓林館は1年生から段階的にプログラミング思考を身に付けられるよう工夫されているところが良いと思ったのと、つまずきの多い箇所、例えば5年生の小数点のある数の掛け算、割り算は本当に子どもたちが団子状で躓くくらいの難関なのですけれど、そういうところの対応が各学年で丁寧になされているところが良いと思いました。板書に近いレイアウトでノートを取り方がわかりやすいということ。キャリア教育について、仕事と算数の関わりについて紹介するページがあるところも良いと思いました。日本文教出版は個人的に読んでいて一番おもしろいと思った会社で、紙面が見やすくメリハリがあり飽きさせなくて、目で見て算数の原理、原則を理解しやすいところが良いと思ったのと、6年生の「マテマランドを探検しよう」というコーナーでは、マンガで算数の楽しさを味わえる非常におもしろい内容になっていて、子どもたちに見せてみたい

と思いました。中学校の数学へのつながりも期待を込めて読めるようになっていました。東京書籍については、算数の数学的な学習の面から、最終的には一番良いと思って東京書籍を推すことにしました。理由としては、藤澤委員もおっしゃっていました、授業開きのページ「学びのとびら」で数学的な活動を具体的に紙面化して、授業とノートをセットで例示していることで、主体的で対話的な問題解決の過程を目に見える形にしているところがとても良いと思いました。「単元プロローグ」では、日常生活の経験などを踏まえた児童同士の対話を通して、その単元全体の課題を見出す作りになっているところも良いと思いました。そして、全体を通して数学的な思考過程がわかりやすく可視化されているので、子どもたちは無理なく数学的な見方や考え方を身に付け、成長させることができるよう工夫されていると思いました。教える側の見方としては、単元末の「つないでいこう算数の目」では、領域や学年を問わず同じ構成にしている、その単元で成長させたい数学的な見方、考え方を指導者の方で捉えた上で、単元の指導計画を構想できるなど、指導者にも利用しやすい作りになっているところも良いと思いました。それから、1学年のみ大きなA4判になっていて、紙面を平らに開くことができるので、よくあるM字型のようにならなくて、1年生が行う算数ブロックを使用する学習もしやすくなっているところも良いと思いました。小さいと算数ブロックの重さにも対応できないし、平に開けないと算数ブロックが転がってしまうため、授業で置いてみようとしても、子どもたちがブロックを落としてスムーズに行えないことがあると思いますので、そういったことに配慮された作りになっているところが特筆すべき良いところだと思いました。以上です。

ありがとうございます。田中委員お願いします。

東京書籍と教育出版が良いと思いながら読んでいたのですが、最終的には、皆さんもおっしゃっていました、東京書籍が良いと思いました。算数の場合は、苦手科目になりやすい科目ということがありますので、一度わからなくなると、取り戻すのが他の教科より大変だろうと思います。そういう意味で、どこかでちゃんと元に戻せる仕組みがある教科書が良いと思いました。それから、学力定着をしっかりと図ることができるという視点からも読ませていただきました。算数に対する興味、関心を持たせる努力や工夫をより実践しているのは東京書籍だと思いました。細かいところでは、お話にもありましたが、1年生の前期だけオーバーサイズで作られています。1年生の導入の部分では親しみを持ちやすく見やすいと思いました。「学びのとびら」についてもお話がありましたが、勉強法やノートテイキングなどの基本的な事柄や理解について、ノートを取ることはやれるようでやれないことで、特に算数はそうだろうと思います

嶋崎教育長
田中 委員

ので、早目にこういう雰囲気だということを見せることは意味のあることだと思いました。先ほどお話にもありました「たしかめよう」「覚えているかな」で学力の定着を図って、さらに「つないでいこう算数の目」で発展させていくという、非常にわかりやすい構成になっていると思いました。児童の学習の段階に応じて、学びのレベルを上げたり下げたりすることが可能になると思いました。復習問題を巻末に設けていて学力定着を図っている点、主観ですけど、色彩もきれいだと思いました。全体的に東京書籍が良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

私から述べたいと思います。6社ということでございました。まず、東京書籍は6年生を除き2分冊、お話があったとおり1年生の上では唯一A版で非常に見やすく、ノート機能も充実していたと思います。全学年にマイノートの写真があって、学ぶ、振り返る、いかすという循環がきちとなされていたと思います。大日本図書は、ノートの取り方を始め、導入問題把握、自力解決の教科書作りが徹底されておりました。ただ、重さが気になりました。学校図書は分冊で軽く「まとめるノート」はわかりやすい印象でした。ただ、6年生の分冊の「中学校への架け橋」は振り返りを意識したものなのか、少しわかりにくかった印象でした。教育出版は1年生の巻頭の「どこがちがうかな」は非常に良く印象的でした。6年生の「地上絵をかこう」は学びを実践的につなぐ好事例でしたが、これも重さが難点でした。次に啓林館は見やすく題材も精選されており、「わくわく算数ノート」も好感が持てましたが、これも重さが気になりました。日本文教出版は6年生以外は分冊で軽めで、全体に文字も大きく見やすく逆に単調さも感じました。5、6年生の最後にある「マテマランドを探検しよう」は、言葉による探求的な題材になっており、非常に良い印象を持ちました。結論を申し上げますと、分冊であり、A版化した1年上の工夫などから、東京書籍、学校図書、啓林館の順としたところでございます。

ということで、算数の採択すべき教科書は、東京書籍で全員一致いたしました。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

算数の採択につきましては、『基礎的・基本的内容がスパイラルに

各 委 員
嶋崎教育長

学習できるよう、確実な知識・技能の定着が求められる内容を集中させるとともに、同一領域の内容が連続することがないように排列が工夫されていること。授業開きのページ「学びのとびら」を設定し、授業とノートをセットで例示するなど、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化するほか、「今日の深いまなび」を各学年に設定し、求められる資質・能力の向上が図られるよう工夫されていること。単元プロローグでは、日常生活の経験などをふまえた児童同士の対話を通して、単元全体の課題を見つけだすつくりになっており、また、単元末の「たしかめよう」「覚えているかな」で学力の定着を図り、「つないでいこう」で発展させることができるようになっていくこと。小中の接続への取組として、算数の学習の総仕上げを意図した「算数の学習をしあげよう」を新設し、数学的な見方、考え方ができるようになっていること。5・6年生に単元の学習と関連させた「プログラミングを体験しよう」を設定し、プログラミング的思考を体験できるよう工夫されていること。』などの理由により、発行者、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

ここで休憩といたします。

再開は13時といたします。

(休憩)

再開いたします。

次に理科の審議を行います。

理科につきましては、5種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

それでは私から述べさせていただきます。啓林館を選ばせていただきました。裏表紙に学年ごとに「先生・保護者の方へ」とあり、理科の楽しさを家庭でも実感してもらえるような配慮がされてきました。理科は好き嫌いがはっきり出る教科だと思いますので、子どもたちに理科の楽しさを伝えてほしいという教科書としての意図が伝わってきました。6年生では電気の学習で繰り返し使えるシールとシートを利用して、プログラミング学習が体験できるような特色があり、河川、台風、地震、火山の学習では、自然への畏敬の念を防災・減災への意識を高めるような特色もあと思いました。理科につながる「算数のまど」を設け、算数の学習内容を理科で生かせるようになっていくことや効果的な写真やイラストを利用して、視覚的に分かりやすく手順や方法、考え方を支援するUD書体、配色を使用して、読み間違えにくい工夫がされています。また、子どもの写真やイラストは男女の役割を固定せず、性別、人種、身体的特

徴に十分配慮されているように感じました。巻末に理科の学び方、まとめ方が掲載されており、実験道具の使い方をすぐに確認できる特色があり、みんなで使う理科室や基本的な器具の使い方、薬品の取り扱いなどが掲載され、理科室の約束や実験の行い方がわかりやすく説明されていました。「デジタル」マークを付け、コンピュータの活用を促したり、QRコードを随所に掲載し、関連する参考情報をタブレットやスマートフォンで閲覧できるような工夫もされていました。子どもたちが理科を学ぶ楽しさを覚え、基礎学力が身に付き、科学的な思考力や表現力が育つ教科書になっているのが啓林館だと思いましたので、啓林館を推薦します。以上です。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

各社とも問題を予想し、観察や実験を通して、その結果を整理し考察し、結論をまとめるという流れで、科学的思考力、判断力、表現力の育成が図られるように構成されており、大きな差はなく良くできていると思いました。その中から現在、帯広市で使われている啓林館と十勝で使われている教育出版の2社に絞って検討いたしました。両社の比較においては、教育出版の方がページ数は多いけれども、実験を多く取り入れるなど、より理解しやすいように思われました。また、「メダカのたんじょう」の単元において、北海道に住んでいる私個人としては、メダカよりもサケの方が良いと思いましたが、全国版としてはメダカが一般的なのかと思いました。教育出版の「学びを広げよう」では、サケについて取り上げられておりました。一方、啓林館の「つなげよう」でマグロの養殖について取り上げていましたが、北海道の子どもたちにはあまり馴染みがない感じがしました。メダカの孵化日の記述は、啓林館が13から14日の2週間に対し、教育出版は11日、水温によって変動はあるものの、東京書籍は9日、大日本図書が11日、学校図書は11日であったことから、11日が適当ではないかと思いました。以上のことから、北海道ということで、サケへのこだわりがあるものですから、教育出版を推薦したいと思います。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

学校図書と啓林館で迷いました。結論としては啓林館を推したいと思います。理由については、藤澤委員もおっしゃっていたように、4学年以上では防災について厚く取り扱っているところ、6年生ではプログラミング用ツールが用意されているところが良いと思いました。記録カードの書き方やノートのまとめ方、伝える時のまとめ方で、記録を整理してレポートにまとめ、他者に表現する力を養えるよう図られているところが国語能力の面でも良いと思いました。また、問題解決の過程をフローチャートのように矢印で結んで、すっきりとしたレイアウトを採用していて、問題解決への流れがとて

もわかりやすい紙面になっているところも良いところだと思いました。各単元末の「ふり返ろうまとめノート」では、学習過程を振り返り、得た知識を整理できるよう図られています。これも藤澤委員がおっしゃっていましたが、「みんなで使う理科室」のコーナーもとてもわかりやすく、器具の使い方をていねいに紹介しているところは、安全に授業や実験を進める上でもとても良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私は啓林館を推薦したいと思います。理由につきましては、主観になりますけれど、5社の中で一番写真がきれいだったと思います。理科の場合は実際のイメージが子どもに与える影響はかなり大きいだろうと思うので、写真、イラスト等については、かなり重要な位置付けを持たされると思っているのが1点目です。それから、論理的思考の道筋をより明確に示しているというのが2点目です。3、4年生と5、6年生では少し作り方は違っているかもしれませんが、問題から観察、結果、まとめよう、確かめよう、つなげようとなっているのが3、4年生です。5、6年生では、問題をつかむ、予想、実験、結果、考察、まとめ、もっと知りたいというような大体同じ論理的な思考の道筋だと思います。他社でも行ってはおりますが、より明確にしているのが啓林館だと思います。理科は外界との驚くような出会い、それを体系化された仕組みの中で物事や自然が動いているということを理解するということでしょうから、自然そのものの問題とそれをどう理解していくのかという2つの側面が必要だと思いましたので、その点でも良かったと思います。先ほど塩野谷委員から、サケじゃないとだめだというお話がございましたけれども、確か有珠山について記載があったので、北海道の大地の変化も示されていると思いました。6年生に関して、確か「持続可能な社会をつくる」ということで、今日的な課題とリンクさせていると思いました。そして、中学生への橋渡しも行われているということ、巻末資料も割と有効に使えるような感じがいたしました。記憶に間違いがなければ、前の啓林館は別冊を使っていたと思いますが、以前から別冊は扱いづらいと感じていたので、巻末に入ったことで、シンプルで使いやすくなったと思います。以上の点から啓林館が良いと思います。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私から述べさせていただきます。まず、東京書籍は目次が裏表紙にあって見やすいのですが、少し重さを感じました。大日本図書は冒頭の理科の学び方はわかりやすく、不思議、なぜと問いかけ、予想し、計画し、調べて、記録して、考えて、まとめるというスタイルがわかりやすかったと思います。ただ、これも重かった

と思います。学校図書は各学年の表紙に科学者3人の写真を掲げて、裏表紙にそれぞれ味のある言葉が掲載されております。結びの「考えよう調べよう」も簡潔にまとまっていますが、これも少し重さを感じました。教育出版はA4版に近い大型で読みやすく、冒頭のノートの取り方は学習のスタートに馴染むものだと思います。6年生の実物大の人間の臓器には驚いたところです。これも重さがありました。啓林館は両開きの目次と「季節ごよみ」がとても実用的に感じました。全体として題材とつながり流れがスムーズでしたし、何よりも軽さが印象的でした。結論を申し上げますと、バランスの良さから啓林館を、次点としては教育出版と大日本図書と考えたところです。

塩野谷委員

皆さんのご意見を伺って、4人が啓林館、塩野谷委員が教育出版ということですが、塩野谷委員はいかがでしょう。

今まで使用してきた啓林館ということで、啓林館を中心に見ましたが、やはりサケに対するこだわりがあり、アイヌ文化とも関係がありますし、鮭の稚魚を放流したり、こだわりがありますが、それを除けば啓林館でよろしいと思います。

嶋崎教育長

それでは、皆さんのご意見を総合いたしますと、理科の採択すべき教科書は、啓林館で全員一致しております。

啓林館を採択することにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

理科の採択につきましては、『写真がきれいで視覚的に分かりやすく、「みんなで使う理科室」や巻末の理科の学び方などにおいて、基本的な器具の使い方、薬品の取り扱いなどが掲載され、理科室の約束や実験の行い方が丁寧に説明されていること。問題解決の過程をフローチャートのように矢印で結び、論理的思考の道筋が分かりやすい構成になっていること。「記録カードのかき方」「ノートのまとめ方」「伝えるときのまとめ方」で、記録を整理してレポートにまとめ、他者に表現する力を養えるようになっていること。「デジタル」マークをつけ、コンピュータの活用を促したり、QRコードを随所に掲載し、関連する参考情報をタブレットなどで閲覧できるような工夫が多くみられること。6年生では、電気の学習で繰り返し使えるシートとシールを利用して、プログラミング学習が体験できるような特色があること。』などの理由により、発行者、啓林館を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。
ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。
ここで休憩といたします。

(休憩)

次に生活の審議を行います。

生活につきましては、7種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたい
と思います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

それでは述べさせていただきます。結論から申しますと、啓林館
を選ばせていただきました。巻頭に保護者向けに、入学当初のスタ
ートカリキュラムに沿って、子どもたちが学校に行きたいという意
欲が高まるような教科書になっていることの説明があり、巻末には
上下巻に保護者と先生方へ教科書のねらいが説明されて、子どもた
ちの成長を見守って欲しいと記載がされていて、学校教育への理解
や家庭との連携が深まるような配慮がなされていると思いました。
幼児期の学びや育ちを大切にしたスタートカリキュラムが充実して
いて、効果的、関連的な指導や上位学年へのつながりや家庭や地域
の連携の配慮がなされていました。写真や挿絵にも性別による偏り
がないような配慮が見られました。主体的、対話的で深い学びにつ
ながる「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の三段階構成で、充実
した活動と確かな学びが実現できるように編集されていて、教師の
指導もしやすくなっていると思われました。各単元にQRコードが
掲載され、学習内容と関連する参考情報をタブレット端末やスマー
トフォンなどで閲覧できるようにするなど、ICTの活用について
の特色が見られました。「わくわくボックス」で冬の行事として、札
幌雪まつりが掲載されているのも良いと思いました。理科の教科書
は啓林館を選びましたので、その関係性もあり、子どもたちが学習
しやすく先生も指導しやすい点から、啓林館を推薦いたします。以
上です。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

7社の中から、冬の行事として、札幌雪まつりが掲載されてい
るのは、東京書籍、教育出版、啓林館の3社でした。低学年が使用す
るため、本の大きさはAB版が良いと考えまして、教育出版と啓林
館の2社に絞って比較しました。啓林館では最初の「がっこうだい
すき あいうえお」は、幼児期からのつながりの導入部分として大
変良い單元だと思いました。教育出版は育成する資質能力をサイコ
ロのアイコンで掲載しているところは良いと思いました。児童にと
って学習のめあてになることと、先生にとっては指導のポイントと
なると思いました。また、「きせつとなかよし ふゆ」のページでは、
北海道釧路市のお友だちが校庭に水を撒いて作るスケートリンクで

の子どもたちの姿は、帯広市の児童にとっても非常に身近なものだと思いました。啓林館も良かったのですが、先ほど理科でも教育出版を選びましたので、生活も教育出版を選びました。以上です。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は学校図書と啓林館に絞って考えましたが、結論としては啓林館を推したいと思えます。各単元が日常生活にまつわるものごとから始まって、その単元のストーリーが重視されているので、子どもたちが必然性をもって学習し、さらに学習した内容が実際の生活につながるよう工夫されているところが良いと思えました。「わくわくボックス」では、子どもの興味を掻き立てて学習への意欲を引き出す工夫がされているところが良いと思えました。「ぐんぐん」という交流活動のコーナーでは、ICTの活用を含め、多様な表現活動を提示しているところが良いと思えました。家庭や地域との連携に配慮していて、自分と身近な人々や社会や自然との関わりについて、自ら考えるように図られているところが良いと思えました。吹き出しの形で教師による支援の例を豊富に掲載しているので、先生が子どもに問いかける際に、教える側からも非常に参考になって良いと思えました。紙面がシンプルで親しみやすいイラスト、大きくて見やすい文字や写真を多用しているところは、子どもたちにとっても読みやすく良いのではないかと思えました。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も啓林館を推薦したいと思えます。1つは「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」に象徴されるように、構成の妙がしっかりしていて使いやすい、子どもにとっても大人にとってもということになります。それから、非常に良い写真が多いということ、笑顔も良いと思えましたし、生物と子どもの関わり方についても適切な配慮があると思えました。3年生へのつながりに相当意識をして作られている点や巻頭の作り方も他社と比較しても良いと思えました。理科のプレ的な教科になると思いますが、佐々木委員も言われたように、印象ですが、日常生活に関して柔らかい感じの作り方になっていて、1、2年生にとって、日常生活は極めて優しくあってもらいたい、教科としてそういう感じがいたしましたので、そのことも含めて、啓林館が一番良いのではないかと思えました。以上です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私から述べたいと思えます。7社ということで、最初に東京書籍は唯一A版でスタートカリキュラムに意識した良い作りですが、やはり重さが気になりました。大日本図書は表紙に凹凸と書かれて描かれた穴から次のページに枝が伸びていく絵本のようなつながり方は出色で成長や伸びを感じさせるものでした。学校図書は「すてきカードを書こう」でみんなの素敵を発見しようという道徳とのつな

がりが意識されておりましたが、変形判の大きさと重さが気になりました。教育出版は絵本のような書き出しでわくわく感があり、写真やイラストも国際性を意識した作りとなっております。光村図書は自他の良さを認め合おうとする作りであり、「きせつのおくりもの」という両開きの四季の写真は出色でした。ただ、1年生は148ページ、2年生は108ページというバランスの悪さが気になりました。啓林館は冒頭の「がっこうだいすき あいうえお」に続く安心安全の導入部の出来がすばらしく、単元ごとの「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の表示は、非常にわかりやすく感じたところです。日本文教出版は148ページの割には軽く、自己肯定感を育む作りに感じました。結論としては、1、2年生向けということで、それぞれ甲乙付け難いものでしたが、継続性の観点からも含めて啓林館を第1とし、次に教育出版、大日本図書と思いました。

そうしますと、皆さんのご意見は4人が啓林館、塩野谷委員が教育出版ということですが、塩野谷委員はいかがでしょう。

塩野谷委員

北海道へのこだわりがあるものですから、それ以外は啓林館も良いと思いました。

嶋崎教育長

それでは、皆さんのご意見を総合いたしますと、生活の採択すべき教科書は、啓林館で全員一致したところです。

啓林館を採択することにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

生活の採択につきましては、『「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成により、主体的・対話的で深い学びにつながる充実した活動と、確かな学びが実現できるように編集されていること。「がっこうだいすき あいうえお」では、幼児期の学びや育ちを大切にしたいスタートカリキュラムが充実していることや、上位学年へのつながりに配慮していること。単元が日常生活や自然に関わりのある物事から始まることから、必然性をもって学習し、学習した内容が実際の生活に繋がるよう工夫されていること。単元ごとにQRコードが掲載され、学習内容と関連する参考情報をタブレット端末などで閲覧できるようにするなど、ICTの活用について特色がみられること。家庭や地域との連携に配慮しており、身近な人々や社会との関わりについて、自ら考えられるように工夫されていること。親しみやすいイラストと大きく読みやすい文字や写真を多用していることや、紙面構成では、性別による偏りがないように配慮されてい

ること。』などの理由により、発行者、啓林館を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に音楽の審議を行います。

音楽につきましては、2種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

それでは述べさせていただきます。教育出版を選ばせていただきました。低学年ではA B版、中学年以降はA 4変形版に発達段階に即し、使いやすさと内容の充実が図られていて、楽譜は大きく見やすく写真やイラストなどもワイドに効果的に配置されていて、各学年の目次は、マークについての説明、「音楽ランド」の曲のページ数が見やすく、わかりやすく学習を進めやすくなっているように感じました。歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞などの学習活動がバランスよく配列されているように思われました。巻頭に一線で活躍する演奏者のメッセージが掲載されていて、音楽だけではなく子どもたちにとって生き方も示唆させる内容になっていると感じました。「音楽のもと」と示され、まとめとして図解や透明シートを生かして音楽内容が理解できるようになっていたり、北海道の民謡の「ソーラン節」が取り上げられていたり、児童の学習意欲につながると思いました。巻末の「音楽ランド」に「Short Time Learning」を設け、既習曲を英語で歌うようになっていて、小学校の英語が教科化となり、リンクして良いと思いましたが、WEBリンクのマークを設定し、資料や動画が用意されているところも良いと思いました。最後に教科書の題目が「音楽のおくりもの」となっていて、音楽の世界に誘う優しい言葉となっているところが良いと思いました。音楽は様々な楽しみや生きる力をもたらしてくれるものだと思います。歌唱や器楽演奏、音楽づくり、鑑賞を学習し、生涯にわたり音楽を通して人生を豊かにする。そのような考え方に導いてくれる教科書だと思い、教育出版を推薦いたします。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いいたします。

私も教育出版を選択しました。理由を簡単に3点お話したいと思えます。まず、北海道の民謡である「ソーラン節」を取り上げるなど、児童の学習意欲を高められるようになっていてと思います。2点目、「まなびナビ」を全学年に設けて、児童の主体的な学びを引き出すような工夫がされており、また、指導上のサポートにもなるのではないかと思います。3点目は、先ほど藤澤委員からもお話がありましたように、3年生以上の紙面を大きくして情報量、ビジュアル面の向上を図っているということから、教育出版を推薦したい

と思います。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も教育出版を推薦したいと思います。各発達段階に合わせて、音楽を形作る要素を捉えて理解できるように工夫されているところに着目しました。例えば、低学年では就学前の学習と関連させつつ、音楽の楽しさを味わうとともにリズムなどの基本的な音楽要素を理解できるよう図られています。中学年になると、合奏などを通して楽器の組み合わせや楽曲の構造に注目できるように工夫されています。高学年ではオーケストラの鑑賞などを通じて、より詳しく音楽の仕組みや構成要素を理解できるように工夫されています。このように発達段階に合わせて、無理なく音楽の要素を捉えて理解できるように工夫されているところが良いと思いました。日本や海外の名曲もバランスよく取り入れられて、幅広い視点を持って音楽を楽しめる工夫がなされていると思いました。藤澤委員もおっしゃっていましたが、WEBリンクのマークが設定されていて、リコーダーなどの運指の技能など、動画でわかりやすく示していて、子どもたちも学びやすく、さらに指導者にとっても指導しやすい内容になっているところが良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も教育出版を推薦したいと思います。正直に言って両出版社にそれほど大きな差は、素人的な私にはわからないところもありました。ただ、音楽という科目はどれほど楽しい分野なのかということ在意図的に編集しているのは、やはり教育出版という印象を持ちました。一方で前の会議の時に選定委員長から、即興性を前面に出しているという話がありました。その時はあまりピンと来なかったところもありますけれど、1年生から6年生まで、自分のまだ形にならないような曖昧模糊たる心内の表現みたいなものを音楽というツールを通じて、前に出していくことを意識的するという科目の意図があるとすれば、教育出版の方が先生にとっても使いやすいのではないかと思った次第です。先ほどお話にもありました1、2年生のサイズが小さいところは、間違いなく負担を軽減させたいという配慮があると思いました。以上3点の理由から教育出版を推薦したいと思います。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私から述べたいと思います。2社ということで、教育芸術社につきましては、音楽に係る資質の向上を図るという観点を強く感じたところですが、一方、教育出版につきましては、音楽の楽しさ、親しみを得ることから始まり、段階的に表現、芸術の素晴らしさにつなげていこうという意図を感じました。そのような理由から教育出版を推薦したいと思います。

皆さんのご意見を総合いたしますと、音楽の採択すべき教科書は、教育出版というご意見で全員一致しております。

教育出版を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

音楽の採択につきましては、『音楽の楽しさ、親しみを得ることから始まり、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞などの学習活動がバランスよく排列され、段階的に表現や芸術の素晴らしさに気づく構成になっていること。巻頭に第一線で活躍する演奏者のメッセージが掲載されており、音楽だけではなく、児童にとって生き方も考えさせる内容になっている。また、「学びナビ」を全学年に設けて、児童の主体的な学びを引き出すような工夫がされていること。音楽を形づくっている様々な要素から、それぞれの学習に関連するものを「音楽のもと」と示し、図解や透明シートを生かして学習内容が理解できるようになっていること。北海道の民謡である「ソーラン節」を取り上げるなど、児童の学習意欲が高められるようになっていること。WEBリンクのマークを設定し、学習に広がりをもたせる資料や運指の技能等を動画でわかりやすく示していること。低学年の教科書のサイズを小さくして軽量化を図り、中学年以降はA4変型版とするなど、発達段階に即した使いやすさと内容の充実を図っていること。』などの理由により、発行者、教育出版を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に図画工作の審議を行います。

図画工作につきましては、2種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

私は日本文教出版を選ばせていただきました。幼児期の学びと図画工作の学びを関連付け、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うことに配慮されていると思えました。目次ページの下に「保護者の方へ」という項目を設け、保護者が児童に対して、学習の心構えなどを指導できるなどの特色が見られました。各単元に「学習のめあて」が提示され、児童が主体的に学習できる配慮がなされ、「教科書美術館」「図画工作のつながりひろがり」には、北海道と関わりのある内容や日本の文化、伝統について取り上げ、児童の学習

意欲を高める配慮がなされていました。造形的な見方、考え方が深められるように、身の回りのものから芸術作品まで幅広く取り上げ、伝統的文化に関わる作品を多く取り上げるとともに、伝統工芸についても取り上げているところが良いと思いました。言語活動の充実として、発想や構想、鑑賞など、様々な場面で児童がコミュニケーションを取りながら、造形活動を行う様子を紹介しているのも良いと思いました。ページ内の片付けにおいて、材料の有効利用に触れ、自然材や再利用できる題材を設定し、環境問題への関心を高める工夫もされていると思いました。内容の分量について、造形遊びをする活動や表現に関わる活動の分量が多くなっていることは、児童が感性を刺激する造形遊びで、身の回りの対象や事象を体験的に感じ取り、表現や鑑賞の基礎的な力を付ける意味合いがあると思いますので良いと思いました。以上の理由から日本文教出版を推薦したいと思います。以上です。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

私も日本文教出版を選択しました。理由の1つとして、造形遊びをする活動、絵や立体工作で表現する活動が多く、表し方など工夫をして自分の感覚を働かせ、創造的に発想したり、楽しく表現したりする力を身に付けられるような活動が多いこと。2点目は、3つの「学習のめあて」が具体的表現で定位置に配置され、把握しやすく、また、「活動の後で考えてみよう」では、児童が具体的にイメージをするなどの特徴があると思います。以上です。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も日本文教出版を推薦したいと思います。理由としては、ほとんど藤澤委員と塩野谷委員がおっしゃったことと重なるところが多いのですが、造形写真や作品例を多く掲載しているほか、身近なものから美術作品まで多様な形や色に出会うページ「教科書美術館」で子どもの学習意欲を高める工夫がなされていること、図画工作で学んだことを生活や社会の中で活かしたり、つないだりする事例を掲載していること。5、6年生では平和や環境と造形との関わりを示して、生命を尊び自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう工夫されていること。友だちとの対話的な学びの場面を豊富に掲載しているほか、実際に素材などに触れて試して考える様子を写真で掲載するなど、子どもたちの主体的、対話的で深い学びの実現に資するように図られているところが良いと思いました。最後にインターネットの活用や著作権について学べるページが設けられているところも良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も日本文教出版が良いのではないかと思います。両教科書とも遜色はなかったのですが、日本文教出版の方が良かった理

由をいくつか挙げたいと思います。1つ目は巻頭の裏表紙の写真がどれも素晴らしいと思いました。特に「フラワーホース」にはびっくりしました。こういう写真、芸術作品を載せているところに圧倒されました。斯様にいろいろな所に出ている作品は、大人が見ても鑑賞に堪える以上のものがたくさん出ておりました。それから、先ほどもお話に出ておりました「保護者の方へ」という文章は、ご父兄の皆さんと図画工作を共有するというような気持ちが前面に出ていると思います。1、2年生では児童の笑顔が多くて、自主性を重んじている感じがしましたし、用具の使い方も丁寧に記載していたと思います。3、4年生の辺りから芸術作品の鑑賞教材が少し増えているという印象があり、転換がスムーズに行われているように思いました。5、6年生では、美術館への誘いという発想へ持っており、図画工作を自分で作る、表現することから、鑑賞の分野を上手にまとめていると思いました。5、6年生の下には「ゲルニカ」を掲載しており、平和教育への道筋も示されていて良いと思いました。一方で先ほどお話にもありましたが、日本文化、美術や工芸も多くあり、全体的なことからも、図画工作から中学校の美術へと進む際に適切な教科書だと思いました。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

私から述べさせていただきます。両社ともA版で重さはほぼ同様だったと思います。まず、開隆堂は一冊ごとにサブタイトルを掲げて編集趣旨がわかりやすい印象で自由に硬くなく自主性や創造性を高めるような作りに感じました。日本文教出版はどの教科書の導入時にも楽しさや意外性などという題材を持っています。全体的には失敗してもいいから、やってみようというような編集の意図を感じられる作りになっていると思いました。そういった点から日本文教出版を推薦したいと思います。

皆さんのご意見を総合いたしますと、図画工作の採択すべき教科書は、日本文教出版というご意見で全員一致しております。

日本文教出版を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

図画工作の採択につきましては、『幼児期の学びと図画工作での学びを関連付け、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うことに配慮がなされていること。友達との対話的な学びの場を豊富に掲載し、児童の主体的・対話的で深い学びが実現できるように工

夫されていること。「教科書 美術館」に情景写真や作品例を多く掲載しているほか、北海道と関わりある内容や、日本の文化・伝統、伝統工芸などについて取り上げ、児童の学習意欲を高める配慮がなされていること。言語活動の充実として、発想や構想、鑑賞など様々な場面で児童がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を紹介していること。図画工作で学んだことを生活や社会の中で生かしたり繋いだりする事例や、インターネットの活用、著作権について学べるページが掲載されていること。』などの理由により、発行者、日本文教出版を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に家庭の審議を行います。

家庭につきましては、2種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

私は開隆堂を選ばせていただきました。理由としましては、各題材は「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して、最後には「ふり返ろう」「生活に生かそう」で家庭実践につなげるように工夫され、学習過程では「できたかな」のチェックなども取り入れるなど、また導入時や学習過程で、「話し合おう」「調べよう」「考えよう」「やってみよう」などの課題も適切に配置されていて、児童が主体的に無理なく学習を進めるための配慮がなされているように思いました。問題解決の手がかりとなる例示や写真、図表、イラストなどが過不足なく適切に配置され、家庭科での安全衛生面について基本的な事項が巻頭のページにまとめられていて、作業上の事故防止や安全、防災教育について細かい配慮がなされていました。伝統的な生活文化に関連する学習項目には「伝統マーク」を付け、特設ページや「チャレンジコーナー」日本の伝統文化を多数紹介し、生活の中のプログラミング学習を取り上げていました。これからの自分を考える上で大事なキャリア教育についても多く掲載されていました。食育に関するページには「食育マーク」が添付され、記述内容は知識、技能、心情面、いずれもよく工夫され、五大栄養素などの食品の働きと栄養に関する内容は、本文、イラストいずれも的確な技術でわかりやすくなっていると思いました。全体を通して家庭科の実習や観察、調査などの活動を学習した内容を実際の生活や生き方に生かせる教科書になっていると思いました。このような理由で開隆堂を推薦いたします。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

2社のうち開隆堂については、各題材は「学習のめあて」で始まり、最後に「ふり返ろう」「生活に生かそう」で家庭につなげるよう

に工夫されております。また、キャラクターやマークを活用して、学習していく上での大切な視点が意識できるような工夫がされている特徴があります。東京書籍については、ステップ1から3の流れでの学習の進め方が非常に良いと思いました。最近はりんごの皮を剥けない子どもが多いと聞きますけれど、「確かめよう」のところでは、包丁で材料の切り方などを分かりやすく、大きく図解にしているところは良いと思いました。それぞれ特徴があり良いところありますが、最終的にはA B版で見やすく紙面もすっきりして学びやすい開隆堂を推薦したいと思います。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も開隆堂を推したいと思います。冒頭の「家庭科学習の進め方」で生活の中の課題を自ら発見し、解決法を考え実践し、それを実際の生活の中で活かすという一連の流れをわかりやすく示すことによって、児童が家庭科を学ぶ意義を確認でき、そして学習の見通しを立てることができるよう工夫されているところがとても良いと思いました。また、安全衛生面、防災について、学習中の不慮の事故を防ぐとともに、いざという時の行動の元となる主体的な判断力と周囲と協力する態度を育めるよう図られているところも良いと思いました。また、生活と環境とのつながりを考えさせ、家庭科で学んだことを活かして、持続可能な社会のために、自分たちに何ができるか考えさせる内容になっているところが良いと思いました。英語科やプログラミング学習、キャリア教育との関連も重視されているところも良いと思いました。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も開隆堂を推薦したいと思います。東京書籍と甲乙付け難いところはありましたが、以下の点において開隆堂を推したいと思います。1つはサイズの問題で、大きい小さい、いろいろプラスマイナスがあると思いますけれど、小さければ持ち運びに便利だということ想定しているのだろうと思います。2つ目は、何人かの委員の方々もおっしゃっておいりました、冒頭の作り方の問題がかなり明確になっていて、「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」と、しっかりした作り方になっていて、学習の流れをしっかりと明示していると思いました。説明を写真とともに具体的に行っていて、児童が理解しやすくなっていると思いました。最後に北海道と関わりのある教材が割と多く使われていて、なじみやすいと思いました。以上の点から開隆堂を推薦したいと思います。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは、私から述べさせていただきます。まず、東京書籍は、A版でイラストや写真も見やすい印象ですが、若干重さを感じました。なお、買い物マークで日本工業規格と説明文がありました。

現在は日本産業規格に変更になっておりますので、修正が必要だと思われました。開隆堂は幅広B版で調理の題材など系統的に配置され、ほぼ全ページに「ひとロメモ」を記載され、わかりやすさを感じました。こうしたことから開隆堂を推薦したいと思えます。

皆さんのご意見を総合いたしますと、家庭の採択すべき教科書は、開隆堂というご意見で全員一致しております。

開隆堂を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

家庭の採択につきましては、『冒頭の「家庭科学習の進め方」で、生活の中の課題を発見し、解決法を考え実生活で生かす、という一連の流れをわかりやすく示すことによって、児童が家庭科を学ぶ意義を確認できるよう工夫されていること。児童が主体的に学習を進めるために、「学習のめあて」で始まり、「できたかな」でチェックし、最後に「ふりかえろう・生活にいかそう」などの学習過程を経て、実践につながるよう工夫されていること。課題解決の手がかりとなる例示や写真・図表・イラストなどを、説明と共に適切に記載し、児童が学習していく上での大切な視点を意識できるように工夫されていること。伝統的な生活文化に関連する学習項目には「伝統」マークをつけ、特設ページやチャレンジコーナーで日本の伝統文化を多数紹介していること。生活と環境との繋がりを考えさせ、家庭科で学んだことを活かして持続可能な社会のために何ができるかを考えさせる内容になっていること。また、キャリア教育や英語科、プログラミング学習についても多く掲載されていること。』などの理由により、発行者、開隆堂を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に保健の審議を行います。

保健につきましては、5種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員お願いします。

私は学研教育みらいを選ばせていただきました。理由としましては、1項目1単位時間2ページ見開きを基本構成とし、見通しを持って学習できるようになっていて、1時間を「つかむ」「考える」「調べる」「まとめる」という本文で構成され、主体的、対話的で深い学びを実現する構成になっていると思えました。3、4学年では「1

各 委 員
嶋崎教育長

各 委 員
嶋崎教育長

藤澤 委員

日の生活のしかた」について学習した後、数日間の自分の生活を記録し、ふり返る活動を位置づけ、学習したことを実生活で確かめることができるようにする。5、6年生では「不安やなやみへの対処」について学習した後、体と心をリラックスする体験的な活動を位置づけ、実感を伴って理解し、実生活に活かすことができるようにするなど、系統的発展的で深い学びを実現する構成になっているように思いました。身長伸び、体の中で起こる変化など、発育発達の個人差を肯定的に受け止めることができるように配慮されていました。「かがくの目」を始めとする、見やすくわかりやすい資料や図解、ていねいな解説により、大切なことが一目瞭然になっているように思いました。「病気の予防」の章では、喫煙、飲酒、薬物乱用は健康を損なう原因でもあり、勧められたときの断り方もていねいに説明されていて、子どもたちの深い学びになっていると思いました。健康な生活、身体の発育発達、心の健康、けがの防止、病気の予防と健康に生きていける社会を作っていく資質能力の育成ができる、バランスが取れているなどの理由から学研教育みらいを推薦いたします。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

5社の中から、1項目1単位時間2ページ見開きを基本構成としているものが学習しやすくて良いと思い、大日本図書、光文書院、学研教育みらいの3社に絞りました。学研教育みらいは、「ふりかえる」「しらべる」「かんがえる」「話し合う」などの活動を適切に設定するなど、主体的対話的で深い学びによって、思考の判断、表現する能力を養うことができるようになってきていると思えます。また、各項目のここで学ぶ目的が明確でわかりやすい思い、学研教育みらいが良いと思えます。以上です。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は光文書院と学研教育みらいの2社で迷いました。光文書院は5社の中で唯一、性についての悩みのところで、自分の性自認や性的志向について、他の人と違うと感じる人が存在することをきちんと紹介することで性の多様性についての理解を深め、自他の個性を尊重する態度を養えるようにしていること、悩む子どもに向けて「よりそいホットライン」を紹介していて、現実的に子どもを支えようとする気概が感じられて良いと思って注目しました。学研教育みらいについては、最初の見開きで健康とはどういうことか問いかけて、自ら考えさせることにより、児童が目的意識を持ち保健の学習に臨めるよう図られているところが最初の印象として良いと思いました。また、科学的な根拠に基づいた資料を掲載し、健康や安全についての知識を科学的に習得できるよう工夫されているところも良いと思いました。がん教育については、時間を取ってしっかり学習できる

ような構成になっていると思います。「心の健康」については、いじめについて考えるページを新設しており、さらに多角的に心の健康について学べるよう、充実させているところも良いなと思いました。全体的に健康について厚く、きちんと考えさせる内容になっているところが良いと思いました。藤澤委員もおっしゃっていましたが、発育発達の個人差を肯定的に受け止められるよう配慮されていて、これも多様性を尊重する観点からも望ましい内容になっていると思いました。迷いましたが、バランスが良いのと健康についてきちんと考えさせる内容になっているところ、継続性の面も考えて、学研教育みらいを推したいと思います。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も最終的には学研教育みらいを選ばせていただきました。理由は、保健という科目にあまり多くの時間を割けないこともあるので、できるだけわかりやすく、めりはりの利いた教科書であるべきだろうと考えました。学研教育みらいは、全体的な構成がしっかりしていて、「つかむ」「考える」「しらべる」「まとめる」「ふかめる」というところは良かったと思います。それから、エイズやがん教育に対する理解など、喫煙、飲酒の問題は極めて適切に書かれていたと思います。特にエイズやがんなどの誤解を受けやすい病気に対して、妙な差別意識を生まないように適切な書かれ方をしていると思いました。他がそうになっていないという意味ではありません。以上の点から学研教育みらいが良いと思いました。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私から、5社ということで、まず、東京書籍はもっともページ数があり、健康や体の成長などわかりやすい印象でした。次に大日本図書は、唯一B版でキャラクターを上手に活用し、ゲーム感覚の見開きページの活用には良さを感じました。文教出版はイラストや写真が豊富で見やすい感じがいたしました。次に光文書院は2冊とも表紙の次の見開きに、スポーツ選手のメッセージがあり、また、自転車のヘルメット義務も記載されておりました。最後に学研教育みらいは、運動、食事、休養、身体の清潔保持などの連続性が感じられ、また、心の発達などでは道徳とのリンク、他者との関わり大切さというものが意図的に記載されておりました。結論ですけれども、継続性を含めて、学研教育みらいを第一に推したいということです。

皆様のご意見を総合いたしますと、保健の採択すべき教科書は、学研教育みらいというご意見で全員一致しております。

学研教育みらいを採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩い

たします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

保健の採択につきましては、『1単位時間見開き2ページを基本構成とし、見通しを持って、学習出来るようになっていること。「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」などの活動を適切に設定するなど、主体的・対話的で深い学びによって、思考・判断、表現する能力を養うことが出来るようになっていること。運動・食事・休養・体の清潔保持などの連続性が感じられ、また、心の発達などは道徳との関連や、他者との関わり大切さが意図的に記載されていること。1日の生活の仕方について学習した後、振り返る活動を位置づけ学習したことを実生活で確かめることができるなど、系統的・発展的に学習できるような構成になっていること。エイズやがんへの正しい理解、喫煙飲酒の害が適切に記されているほか、発育・発達の個人差を肯定的に受け止められるよう配慮がなされていること。』などの理由により、発行者、学研教育みらいを採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に英語の審議を行います。

英語につきましては、7種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

私は東京書籍を選ばさせていただきました。理由を述べたいと思います。保護者向けに「豊かな学びが未来を拓く」と称しまして、学校英語教育の重要な役割などを説明し、子どもたちのコミュニケーションを促す内容が掲載されていまして、保護者へのこれからの英語教育の理解を求める内容で良かったと思えます。冒頭に教科書の使い方が掲載され、見通しを持った学習ができるように工夫されていて、日常生活に密着した内容とストーリーを設定し、より身近に学習に取り組めるようになっていました。別冊に「Picture Dictionary」が付いていて、2年間使い続けることによって単語や表現の定着を図れると思ひ、大変有効だと感じました。英語学習に不可欠な音声や映像を使った学び方のQRコードやURLを掲載させて、メトロノームを使いリズムに乗せて語彙を発声練習することにより、日本語とは異なるリズムに気づき、理解しようとする態度を養うことができる特色がありました。世界に日本の良さを発信しようとする児童を育てられるよう伝統文化の落語、歌舞伎、空手などが題材になっていました。いじめや差別のない社会を

テーマに、ドイツに古くから伝わる「Butterfly Friends」を読み物教材として掲載し、読書の感動を伝えているのも良いと思いました。児童が巻末コミュニケーションカードを使い、自分の選んだ英語を使って行う活動で主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が期待されると思います。全体を通して感じたことは、子どもたちが英語を楽しく学習でき、みんなが英語を好きになるというコンセプトのもと、英語を通じて他者や世界とつながり、コミュニケーション能力の育成ができる教科書ではないかと思いました。このような理由から東京書籍を推薦します。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

小学生の英語にしては、全体的に難し過ぎるという印象を持ちました。読む、書く、聞く、話すことによる、実際のコミュニケーションの基礎的な能力を身に付ける上では、やはり小学校段階では、習うより慣れることを基本に慣れ親しむことが大切ではないかと思いました。いろいろ迷いましたが、2年間を通し「Picture Dictionally」を繰り返し使いながら、学習を継続する方法が良いのではないかということで東京書籍を推薦したいと思います。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は最初、三省堂と東京書籍と教育出版も良いと思いましたが、最終的には三省堂と東京書籍に絞って、かなり迷いました。三省堂のCROWNは、これに限ったことではありませんが、ヒアリングはもちろんスピーキングが重視で、しかもCROWNでは、まず、誰にどのようなことを伝えたいか、もしくは聞きたいかということを確認させた上で、目的を持って話せるようにしているところが良いと思いました。また、「Story」というコーナーでは、物語を聞き取らせることが繰り返さされていて、単発の言葉だけではなく、ストーリーに関連付けて覚えていけるので、飽きさせないところも良いと思いました。また、聞く、話すだけではなく、スペルの書き取りについても、基本的なことがよく押さえてあり、バランスも良いのではないかと思いました。聞くだけでなく、英文をなぞりながら聞くというコーナーがあって、文章と音をリンクさせるところもとても良いと思いました。ただ、それだけバランスが良くて、学力を高めようとするところは、逆を言えば難しいところがありまして、これをきちんとやれば確かに学力は上がるのでしようけれども、つまずいてしまう可能性もあるのではないかと懸念しました。という理由から最終的には、東京書籍の「NEW HORIZON」を推したいと思います。まず、冒頭で英語を使って将来したいことは何ですかと問いかけて書かせることによって、英語を学ぶ目的意識やわくわく感を持って学習に向かうよう工夫されているところが

第一印象として良いと思いました。リスニング力とともに、自分のことや気持ちを英語で伝える力を育てることに重点が置かれていて、巻末にはカラフルなバースデーカードや夢に向けての時間割など、様々な付録を使い友だちと楽しく英語で伝え合う活動ができるよう工夫されているところが良いと思いました。海外の食文化や海外の仕事やそれぞれの国の授業風景を豊富に紹介して、英語だけではなく、それを使ういろいろな国への興味をかきたてる内容になっているのも良いと思いました。英語で日本を紹介する活動によって、より深く自国を知ることができるように工夫されているところも良いと思いました。防災教育と環境問題、食育やキャリア教育という様々な分野と関連する教材が用意されているところも良いと思いました。イラストや写真が鮮やかで見やすいレイアウトになっているのも良いと思います。他の委員の方もおっしゃっていましたが、2年間を通して使用する「P i c t u r e D i c t i o n a l y」は携帯に便利なA B版の分冊になっていて、必要な時にさっと取り出して参照することができて、2年間を通した英語学習に非常に役立つものと思います。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

初めて小学校に英語が入るということで、どういう教科書になるのか楽しみにして読ませていただきました。結論を先に申し上げますと、東京書籍を選びました。佐々木委員からもお話がありましたが、三省堂とか他の教科書も見させていただいて、それぞれに性質や作り方が随分違うものだと思って読ませていただきました。子どもたちにとっては初めて学ぶ教科でもあり、一方で中学校までの橋渡しもこの教科書でやっていくことになる、あれもこれもとやってしまうと、先ほど佐々木委員が言われたとおりで、一つ間違えると中学校を前にして英語嫌いということが起こり得る話だと思います。多様性はあっても良いと思いますけども、シンプルにこれを勉強してほしいということが明確になっている教科書が良いと思ったのと、同様にこの科目については、先生に過度な負担をかけるのは厳しいだろうと思いましたので、そういう意味でも東京書籍が良いと思いました。先ほど皆さんから一致して出ていました「P i c t u r e D i c t i o n a l y」はかなり使い勝手が良いこと、先ほどシンプルという話をしましたが、自分と地域と日本について世界に紹介していく道筋で一貫しており、それについてコミュニケーションや会話をしましょう、最終的には世界の中の日本を明確に自分たちで見出し、それを英語で行いましょうという話でしょうから、それが極めて明確に書かれてあると思いました。それから巻末の付録も役立つような気がいたしましたし、先ほど藤澤委員が言われていたとおり、英語を楽しんで英語に親しむという明確なコンセプト

が一番出ていたのが東京書籍だと思った次第です。ただ、改めて繰り返すこともないと思いますけれども、様々な教材を利用して英語を嫌いにさせない仕組みを作っていかなければいけないという危惧を抱きました。ALTや帯広であればJICAの方たち、エリアの中学校の先生との連携など、もう行われているかもしれませんが、かなり真剣に取り組んでいかなければいけないと教科書を見ながら実は思った次第です。東京書籍が良かったと思います。以上です。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私からです。7社ということで、最初に東京書籍はA版の薄い教科書のほか、他の委員さんからもお話のあった「Picture Dictionary」という別冊の付録は、構成としては唯一のものでした。結果的には2冊持参することになりますが、会話重視の構成で学ぶ意識付けが明確にあると感じました。次に開隆堂は、冒頭の「CAN-DOマップ」は非常にわかりやすいと思いましたが、少し重さを感じるところです。次に学校図書はA版で150ページを超えるボリュームで繰り返しの記述が多く、少し工夫が必要だと感じました。次に三省堂は「世界のあいさつ」「旅行はどこに行く」など、外国への関心を高める意図が明確で、イラストも多く取っ掛かりやすいと感じました。次に教育出版は5年生の防災時の行動の英語標記のマークは秀逸で、また、6年生の「the Letter」も印象的な題材だと思いました。光村図書は会話重視の編集で「おむすびころりん」の英語バージョンなどは、非常に多様性を感じましたけれど、2冊とも140ページを超える重さが非常に気になりました。最後に啓林館は文字もイラストも多く、楽しく学ぶ編集方針を感じましたが、若干平板な感じがしたところ。結論を申し上げますと、使い勝手とバランスの良さで東京書籍、次に光村図書、教育出版の順だと感じたところ。以上です。

皆様のご意見を総合いたしますと、英語の採択すべき教科書は、東京書籍というご意見で全員一致しております。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各委員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

英語の採択につきましては、『英語に親しむ、英語を楽しむ』といったコンセプトが一貫しており、日常生活に密着した内容とストーリー設定で、より身近に学習に取り組めるようになっていること。冒

頭に教科書の使い方が掲載され、見通しをもった学習ができるように工夫されていること。また、「英語を使って将来したいこと」を書かせることによって、目的意識やわくわく感をもって学習に向かうよう工夫されていること。世界に日本のよさを発信しようとする児童を育てられるよう、伝統文化の落語、歌舞伎、空手などが題材になっていること。また、日本を紹介する活動によって、より深く自国を知ることができるようになってきていること。リスニング力とともに、自分のことや気持ちを英語で伝える力を育てることに重点がおかれ、バースデーカードや夢に向けての時間割などの様々な付録を使い、友達と楽しく伝え合う活動ができるよう工夫されていること。「ピクチャーディクショナリー」は、2年間使い続けることによって、単語や表現の定着を図れるようになってきていること。』などの理由により、発行者、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に道德の審議を行います。

道德につきましては、8種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

東京書籍を選ばせていただきました。理由につきましては、保護者向けに「豊かな学びが未来を拓く」と称して、道德教育の重要性、必要性が示され、子どもたちと一緒に考えて欲しいと記載されていて、道德教育の理解や家庭との連携が深まる配慮がなされていると思いました。オリエンテーションページで道德のイメージを持たせるような特色があり、1年生の導入ではスタートカリキュラムにも配慮し、幼児期間とのつながりが示されており、高学年では中学校とのつながりに配慮し、自己の生き方にかかわる教材が配置されていて、幼児教育と中等教育の関連が図られていると感じました。教科書本体の挿絵、写真が見やすく、文字も読みやすく、AB版で使用しやすいサイズであると思いました。内容項目、別目次で4つの視点と内容項目別に教材を分離し、1年間の学習内容を見通すことができるようになっていて、主体的に学習に取り組めると感じました。喫緊の課題であります、いじめ問題を全学年で重要項目として取り上げ、直接的教材と間接的教材の2つの教材を組み合わせ、いじめ防止の効果を高められるよう工夫されていました。活動型教材として、読み物教材とは異なった形式で、様々な活動の中で議論させることを促し、子どもたちの多様な考えを引き出す工夫もされていました。各学年に家庭や地域との連携を促す付録「つながる 広がる」が配置され、家庭や地域社会との共通理解を深めることができるように配慮されていました。各学年に自分の成長を見つめる「学

習のふり返り」一年間の学習を振り返る「これからもかがやく自分に」を配置し、自らの道徳的な成長を実感し、新たな課題や目標を持ち、次の学年につなげることができるようになっていました。人生や生活し生きて働く道徳性の育成をめざす教科書として、特定の価値観を押しつけず、自由な考え方を尊重し、子どもたちが学習しやすく、教師も指導しやすく、継続性も考えまして、東京書籍を推薦したいと思います。

嶋崎教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

2年前に新たな教科書として導入されたものであり、現在の教材に特別な問題や不都合もないようでありまして、また、内容を大きく見直すほどの大きな社会環境の変化もないことから、今回も引き続き同教科書を使用しても良いのではないかと思います、東京書籍を推したいと思います。

嶋崎教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も東京書籍を推薦いたします。全学年を通じていじめ問題に対応した教材を効果的に配置しており、より深く主体的に考えさせる内容になっているところが良いと思います。また、4学年以上では、安全・防災教育や情報モラル教育に活用できる教材を用意しているところも良いと思います。また、問いかけはできる限り少なく設定されているので、児童が持つ問題意識や判断が誘導、そして固定されにくいところに特色があると思います。「出会う・ふれ合う」でコミュニケーション活動が促され、多様な感じ方や考え方にふれることで、それらを尊重しながら自らの考えを深めていくことができるよう図られているところが良いと思います。問題解決的な学習については、3年生以上で、扉のページ、考えるポイント、考えるステップの3つのステップを用意しており、児童が主体的に課題を発見し、考えることができるようになっていたのも良いと思いました。各学年に生活科や社会科での体験学習との関連を図った教材が配置されているのも良いと思います。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も東京書籍を推薦したいと思います。1つは塩野谷委員が言われたとおり継続性の問題がありますので、その点が1点と、やはり道徳という科目をどう捉えるかということだろうと思います。人として一体どういう生き方をすべきなのか、人の品性とはどういうものであるか、そういったことを自ら自主的に思考し、判断して考えていくためにこの科目があり、考える行為を身に付けるということだろうと思います。お話にあったとおり、適切な質問、設問設定はかなり大きな意味を持ちます。誘導性があるはいけないということになるだろうと思いますし、逆に設問自体が難しければ困るので適切な設問について踏まえると、東京書籍だと考えました。改めて

確認させてもらいましたが、1年生の取っ掛かりで、他の出版社もそうでしたけれど、自分の良いところ探しを始めるというところで、歳を取れば取るほど自分のマイナス要素からしか語らない人たちが多くなって、自分のだめなところから話が始まってしまうので、良いところ探しから始めることは、かなり大きな意味を持つだろうと思いました。それから、家族の役割を考えたり、ボランティアのことを考えさせたり、世界と自分、自分と他者と言いますか、自分がここにある意味を導き出していくところは、東京書籍は良く作られていたと思います。因みに光村図書と悩みましたが、どうしても国語的な意味合いが強くなり、文章も難しいこともあり、決して悪い教科書ではなく、最後まで考えましたけれど、東京書籍の方が良いと結論に達しました。

嶋崎教育長

ありがとうございます。

それでは私から述べさせていただきます。8社ということですが、2年前に初めて採択した教科書でございます。前回に採択した東京書籍の内容の変更点を見ました。1年生の冒頭に学ぶ内容や学習の進め方といったガイダンスというものが新たに加わってありました。題材では地図を使った物語から、パズルの地図に変わっていて、考える楽しさを求めるものになったと思います。6年生のルール順守の題材はマンガものに、人との関わりの題材では黒柳徹子さんのユニセフ親善大使に変更されていました。また、巻末には学期ごとのまとめを書いて切り取るページを加えるなど、2年間の中でしっかりと改善がされているように思われます。加えて保幼小中の連携の工夫も感じられましたし、そういった中で教員もようやく道德の授業に慣れつつあることも踏まえ、引き続き東京書籍を推薦したいと思っております。

皆様のご意見を総合いたしますと、道德の採択すべき教科書は、東京書籍というご意見で全員一致しております。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

道德の採択につきましては、『1年生の導入では、学ぶ内容や学習の進め方など、スタートカリキュラムに配慮し幼児期からのつながりが示されていること。また、高学年では中学校とのつながりに配慮した自己の生き方に関わる教材が配置され、保幼小中の連携の工夫がされていること。「いじめ問題」については、全学年を通じて教

材を効果的に配置し、児童がより深く主体的に考えることができる内容になっていること。「出会う・ふれ合う」でコミュニケーション活動が促され、多様な感じ方や考え方に触れることで、自分の考えを深めていくことができるようになっていること。生活科や社会科などの体験学習と関連を図った教材や、家庭や地域社会との共通理解を深めることができる「付録 つながる 広がる」が巻末に配置されていること。1年間の学習を振り返る「これからもかがやく自分に」を配置し、自らの道徳的な成長を実感し、新たな課題や目標を持って次の学年につなげることができるようになっていること。2年前に新たに導入されたばかりの教科であり、継続性に配慮したこと。』などの理由により、発行者、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に特別支援学級の審議を行います。

特別支援学級の教科用図書につきましては、事務局の説明にあったとおり、これまで知的障害学級における特別の教育課程に対応するため、特別支援学校用（小・中学部）教書目録に唯一搭載されている文部科学省著作の教科用図書を使用してきたところであります。これから質疑に入ります。

各 委 員
嶋崎教育長

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

ここでお諮りいたします。

特別支援学級の採択につきましては、文部科学省著作の教科用図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

以上で全種目の採択について決定しましたが、改めて質疑等はございませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

ありません。

別になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第26号、小学校用教科用図書の採択については、各種目について先ほど決定した発行者名及び教科書番号に修正のうえ、決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
嶋崎教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第26号については、そのように決定されました。

以上で議案第26号、小学校用教科用図書の採択についての審議はすべて終了いたしました。

日程第5、報告第27号、教科用図書の採択に係る情報の公表についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

山下調整監

報告第27号、教科用図書の採択に係る情報の公表につきましてご説明いたします。議案書13ページをご覧ください。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律において、教科書を採択したときは、採択結果及び理由等を公表するよう努めることとされており、このことから今年度の小学校用教科用図書の採択に係る情報の公表につきましては、採択した教科書発行者名、採択理由、本日の教育委員会会議の会議録、教科用図書選定委員会からの答申書及び調査研究資料などを遅滞なくホームページで公表したいと考えているところでございます。また、このうち採択した教科書発行者名につきましては、本日の教育委員会会議終了後、準備が整い次第、報道機関へ通知しようと考えているところでございます。説明は以上であります。

これから質疑に入ります。

ありません。

鳴崎教育長
各委員
鳴崎教育長

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

ここで私から一言ご挨拶を申し上げます。令和2年度から使用いたします教科用図書につきまして、6月の選定委員の委嘱から始まり、約2ヵ月間をかけ、本日の教育委員会会議におきまして採択されたところであります。委員の皆様にはこの間、連日にわたり調査・研究を行っていただき、また、本日は採択の審議を慎重かつ適正に進めていただき大変ご苦労さまでした。帯広の将来を担う子どもたちのために、より適した教科書の採択に最後までご尽力いただきましたことに心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

これをもちまして、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で令和元年第10回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。